

本会では、毎年、全国中小企業団体中央会と連携して、テーマを決め共同事業等先進的に取り組んでいる組合事例を収集し、情報提供しています。今年度は、「地域資源を活用した事業展開」、「共同事業を通じた生産性向上」を取り上げ2組合調査いたしました。

なお、全国の先進組合事例紹介は、20年3月頃に全国中小企業団体中央会のホームページ上で公開を予定しております。

「地域資源を活用した事業展開」 ～街路灯受注と体験教室により山形鑄物の伝統をPR～

組 合 名	山形鑄物工業団地協同組合
住 所	〒990-2351 山形市鑄物町十番地
電話番号	023-643-6031
FAX番号	023-643-6030
設 立	昭和46年12月
出 資 金	12,600千円
組 合 員	9人
主な業種	鋳鉄鑄物製造業
U R L	http://www.shuokao-yamagta.or.jp/imonon/



1 背景と目的

千年近い伝統を有する山形鑄物であるが、経営規模の零細性や後継者不足が深刻化しており、また一般消費者が鑄物に触れる機会も減少していた。このようななか、平成14年より山形市が公衆街路灯の更新を行うこととなり、街路灯カバーを山形鑄物にて製造することとなった。体験教室については、一般消費者の鑄物に対する理解を深める目的で開催している。

2 事業・活動の内容

山形鑄物の認知度を高め普及を図っていくために、共同販売事業を展開している。公衆街路灯の更新にあたり、街路灯カバーの共同受注に成功し、平成14年より18,000基の納入を達成した。

一般市民を対象とした体験教室・展示イベントを、組合事務所に隣接する山形市産業歴史資料館にて、JR東日本との提携により開催し、市内はもとより仙台圏からの参加者を得て好評のうちに実施している。

他にも、計量証明事業を実施し、組合員企業が原材料を仕入れる際に、デジタルはかりにて計量することにより正確な資材購買を行っている。